



2021年11月5日

各 位

上場会社名 株式会社 ヒラノテクシード
 代表者 取締役社長 岡田薫
 (コード番号 6245)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 原昌史
 (TEL 0745-57-0681)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	1,600	1,700	1,100	73.07
今回修正予想(B)	18,600	2,600	2,700	1,900	126.18
増減額(B-A)	600	1,000	1,000	800	
増減率(%)	3.3	62.5	58.8	72.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	8,952	660	716	471	31.32

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	3,100	3,200	2,050	136.17
今回修正予想(B)	35,000	4,300	4,400	3,100	205.87
増減額(B-A)	3,000	1,200	1,200	1,050	
増減率(%)	9.4	38.7	37.5	51.2	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	25,800	2,560	2,661	1,785	118.63

修正の理由

(2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想)

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の長期化に伴う景気下振れリスクと事業活動の制限等による不透明さがございましたが、売上高は概ね予定通りとなりました。利益面につきましては、生産体制の管理を強化した事で原価率が低減された事などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回公表予想を上回る見込みであります。

(2022年3月期通期連結業績予想)

通期の連結業績につきましては、長期化するコロナ禍において抑制されていた経済活動が徐々に回復傾向にあるなか、部品の供給不足並びに鋼材の高騰等、先行き不透明な状況でございますが、生産は比較的順調に進む見込みであり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回公表予想を上回る見込みであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年5月14日発表)	—	20.00	—	20.00	40.00
今回修正予想	—	28.00	—	28.00	56.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2021年3月期)	—	15.00	—	22.00	37.00

修正の理由

当社の配当金につきましては、企業の収益状況により決定するものと考えており、新技術開発・事業の拡大などへの内部留保も考慮し、安定的な配当の維持を基本としております。
 本日発表の業績予想の修正の通り、第2四半期連結業績予想並びに通期連結業績予想は2021年5月14日に公表いたしました予想を上回る見込みであります。つきましては、業績予想を勘案し利益配分に関する基本方針に基づき、中間配当金を8円増の28円、期末配当金を8円増の28円にそれぞれ修正いたします。これにより、2022年3月期の1株当たり年間配当金は56円となる見込みであります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績及び配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上